

日々の生活に生き甲斐のある
生涯学習を目指し...

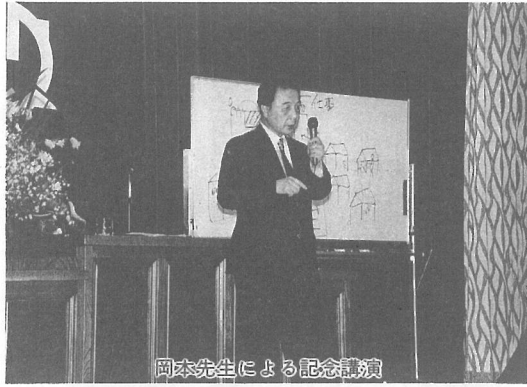
第一回横芝町

生涯学習推進大会を開催

「生き甲斐のある心豊かな生活」を研究主題として、第1回横芝町生涯学習推進大会が町教育委員会と町社会教育委員会の共催により3月10日、町文化会館で開かれました。

大会でははじめに、表彰式が行われ、町の社会教育に貢献された2団体と10名の方々に表彰状などが贈られました。

このあと、川村学園女子大学教授の岡本包治先生による「生涯を通じて学ぶこと 人生80年



岡本先生による記念講演

時代どう生きたいか」と題した記念講演が行われ、先生は「生涯学習とはお年寄りだけのものではなく、すでに乳幼児時代から始まっており、社会に出て学習は仕事のカギや命に繋がるもの」と生涯学習の重要性を強調。150名の参加者のみなさんは、熱心に耳を傾けていました。

受賞者は次のとおりです。

- 社会教育功労表彰(個人)
- 大木 隆(鳥喰上)
- 主屋 長八(姥山)
- 五木田 一(遠山)
- 林 静男(東町1)
- 齊藤 イソ(東)
- 押尾 泰江(上町2)
- 川島 慶子(本町4)
- 高埜 考子(鳥喰沼)
- 社会教育功労表彰(団体)
- 横芝町婦人会
- 中台神楽保存会
- 社会教育感謝状
- 西川 宗保(古川)
- 佐久間とく(木戸台)

— 敬称略 —

5町1村の消防団
航空機災害を想定し
合同訓練

「航空機が飛行中、エンジントラブルにより緊急着陸、火災が発生し多数の負傷者が出た」との想定で3月10日、松尾町工業団地を会場に、5町1村の消防団合同訓練が行われました。

この訓練は、横芝町、松尾町、芝山町、山武町、成東町、蓮沼村が成田空港の周辺に位置していることから、各町村の消防団が航空機災害に備え、消防署と新東京国際空港公団の協力を得て実施しているもので今年で2回目になります。

事故発生を午前10時に想定し訓練はスタート。町村長など多数の来賓が見守る中、担架隊による人命救助訓練や水と泡を使用した消火訓練などが各消防団の連携のもと機敏かつ迅速に披露されました。



化学消火剤を使った消火訓練。

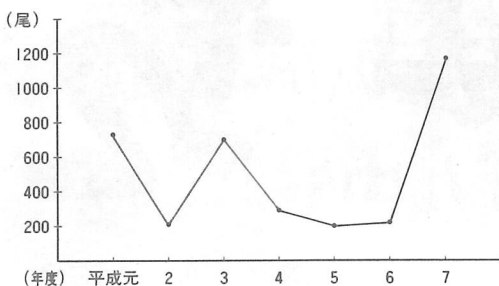
栗山川へ帰ってくるのを楽しみに
小学校5年生がサケの放流

「また、栗山川へ帰ってきてね。」「元気で戻ってこいよ。」と再会の願いを込めてサケの稚魚を放す子どもたち。

今年も、サケの稚魚の放流が3月12日、栗山川横芝堰で行われ、横芝小学校と大総小学校、南条小学校(光町)の5年生180名に見送られて、100万尾が放流されていきました。

今年、栗山川へ帰ってきたサケの数は1168尾。昨年までと比較してみますと、大幅に増えています。原因の一つとしては、「水温が低かった」という自然の力が大きく影響しているようですが、より多くのサケが帰

サケの回帰数



つてこられるよう、魚が気持ちよく住める栗山川」として、汚さない努力に心掛けたいものです。3、4年の年月をかけて帰ってくるサケのためにも……。